

元旦マラソン 新年に勢いを

一関の愛好家団体

一関美走会（氷室一彦会長）恒例の元旦マラソンは一日、一関市の一関文化センター前をスタート地点に行われた。平泉町の毛越寺までの約9キロの道のりを、それぞれの



会図とともに一斉にスタートする参加者

ペースで走った。

同日のスタート時の気温は約1度。前日の雪が道路上に残るあいにくの状態だったが、太陽も時折顔をsausますまずの天候で、会員と一般市民約四十人が参加した。

午前十時、号砲とともに記録や競争心にとらわれず、互いに励まし合い

ながら国道4号を北上した。

今回が五回目の元旦マラソンという同市宮下町の会社員熊谷義郎さん（54）は「今年も東京マラソンにも出場する。トレーニングの意味も込めて参加した。一年の始まりに完走して、すべての事柄に勢いをつけたい」と毛越寺を目指した。